

# 2002年10月期事業報告書

---

(2001年11月1日 - 2002年10月31日)



**TOP CULTURE Co., Ltd.**



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。2002年10月期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

地域文化の発展のために尽くしたいとの思いから創業し、2002年12月で16年が経過しました。そして「日常的エンターテイメント」を事業コンセプトに、地域の皆様の様々なライフスタイルに密着した大型複合店舗を展開してまいりました。本・映画・音楽など身近なエンターテイメントの素材を大型複合店舗という新しい業態で提供することを通じて、誰もが楽しめる空間や時間を作りたい。それが、「日常的エンターテイメント」の出発点でありました。

常に新鮮なエンターテイメント素材と心のこもったサービスを提供することで店舗の魅力を高め、店舗収益力の向上に努めております。今後も着実に出店を進め、より広範な市場への浸透を目指してまいります。これにより、当社は継続的な成長を遂げ、株主の皆様の利益増大を果たしたいと考えております。

### 連結業績は過去最高を更新

2002年10月期の業績でございますが、「蔦屋書店」を新規に5店舗（新潟県2店、長野県3店）開店いたしました。長野県におきましては当社店舗のない新しいエリアへの出店を、新潟県におきましてはドミナントエリアへの出店を行い、エリア拡大とともにドミナントの一層の強化を図りました。これに既存店売上高がほぼ前年水準（99.7%）を達成したことによりまして、当社単体では売上高16,805百万円（前年比110.5%）、当期純利益365百万円（前年比118.1%）と増収増益を達成いたしました。

連結決算におきましても、子会社(株)トップブックスが黒字を達成して、連結売上高16,938百万円（前年比110.8%）、当期純利益365百万円（前年比120.7%）となりました。

商品別売上高では、書籍、レンタル及び販売用DVDが好調に推移いたしました。特に、書籍は業界全体では書籍・雑誌販売額の前年割れが続くなかで、当社既存店は好調を堅持いたしました。また、販売用DVDは、ハードの普及を背景に売上高が前年を大きく上回りました。

### 今後の展開

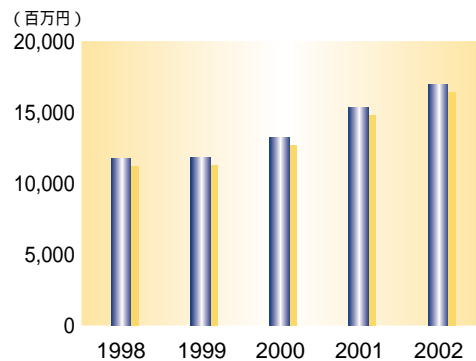
新年度に入りました2002年12月に関東地方への初出店となる店舗を神奈川県厚木市に開店いたしました。今後は、新潟・長野両県のドミナント化を強化するとともに、神奈川県を中心に関東の郊外エリアでの多店舗展開を目指してまいります。関東郊外エリアは人口規模が大きく、かつ今後も増加が期待される地域でありながら、当社のような大型複合店舗は非常に少なく有望な市場であると考えております。

また、収益の要であります店舗を中心としたオペレーションの強化と本社のサポート力の向上に取り組んでまいります。そして、新たな成長段階へのステップアップを目指してまいります。

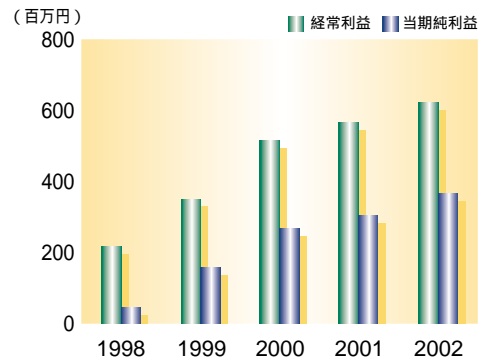
株主の皆様には今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2003年1月  
代表取締役社長 清水 秀雄

## 売上高



## 経常利益・当期純利益



## 業績ハイライト

2001年10月期より連結決算を開始いたしました。(2000年10月期以前は単体数値にて記載いたしております)

(単位：百万円・切捨)	1998年10月期	1999年10月期	2000年10月期	2001年10月期	2002年10月期
売上高	10,470	11,767	13,162	15,288	16,938
営業利益	242	346	554	573	591
経常利益	223	345	518	561	618
当期純利益	49	154	262	303	365
総資産	6,134	6,563	7,063	7,753	8,645
株主資本	434	963	2,358	2,970	3,240
1株当り当期純利益(円)	37.4	110.0	67.5	73.1	79.8
1株当り株主資本(円)	325.4	272.6	563.7	643.6	709.5
1株当り配当金(円)	7.5	7.5	10.0	12.5	12.5
単体期末店舗数(店)	23	25	29	33	38

(注) 99年11月1日に額面変更のため額面500円の会社と合併/2000年2月22日に株式分割(1:10)を実施  
98年10月期から99年10月期の1株当り当期純利益・1株当り株主資本・1株当り配当金は合併・分割を勘案したものであります。

## 「日常的エンターテイメント」 - エンターテイメント空間と時間の提供 -



書籍・映画・音楽・文具...etc. 暮らしの一番近くにあるエンターテイメントたち。ディズニーランドのようなエンターテイメントは毎日は体験できない「非日常的」なものだと思います。

毎日でも味わうことのできる身近なエンターテイメントを、モノだけでなく、心地よい空間や時間として提供する、「日常的エンターテイメント」。これが、私たちトップカルチャーの変わらぬビジネスコンセプトです。

創業の翌年1987年、日本で初めて、それぞれ単独の専門店を提供されていた書籍、映画、音楽、文具などの身近なエンターテイメントの数々を、1つの店舗に集約した大型複合店舗として開店いたしました。専門店レベルの新鮮で豊富な商品の品揃えと、百貨店やショッピングセンターに劣らない、明るくゆったりとした広いフロア。そこに行けば必ず何かが見つかる、あるいはそこで何かを探すこと自体が心地よい時間の過ごし方となる、そんな空間と時間を提供します。

また近年はお客様のニーズの多様化に合わせてリサイクル事業を強化しています。

標準店舗は350～400坪の大型複合店舗

書籍・映画・音楽・文具などを組み合わせた新業態



## 「日常的エンターテイメント」

- エンターテイメント空間と時間の提供 -



### トップカルチャーの店舗

トップカルチャーの大型複合店は郊外立地が中心。最近オープンしているお店は、店舗面積が1,000㎡以上、駐車台数は100台以上確保を基本としています。そして家族そろって車でご来店されるお客様が多いことが特徴です。

営業時間は朝10時から夜12時まで。(一部店舗除く)お店のスタッフは社員4～5名、パート・アルバイト20～30名程度で運営しています。



### お子様からご年配の方まで、家族みんなで楽しめる空間

例えば、ご家族連れで休日にショッピングを楽しむシーンを思い浮かべてください。お父さんは歴史小説とビジネス誌を手に入れたい、お母さんは趣味のクラシックのCDを探したい、子ども達は人気アニメのビデオが見たい、そしておじいちゃんやおばあちゃんは椅子に腰掛けてゆっくり本を選びたい。そんなニーズをすべて満たすことができる、楽しい空間作りを目指しています。





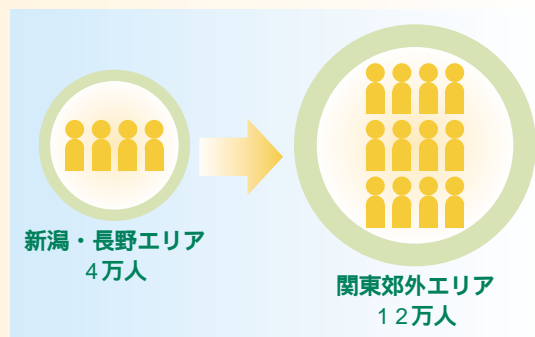


厚木戸室店

## 関東エリアへの出店

2003年10月期に入りました昨年12月に、当社の関東地方での初出店となる「蔦屋書店厚木戸室店」を神奈川県厚木市に開店いたしました。これまで新潟県と長野県で店舗を運営してまいりましたが、長期的な成長のためにより大きな市場において事業を展開していきます。これまで培ってきました大型複合店舗の運営と人材育成のノウハウを活用し、新たな市場への展開にも自信を持って臨んでまいります。

店舗のコンセプトはこれまでと同様ですが、店舗の近隣人口が大幅に増加することが特徴です。個々の店舗が出店エリアにおいてお客様に認知され、大きな売上と利益を上げられるように努めていきます。



想定する近隣人口が大幅に増加（近隣人口イメージ）  
近隣人口：店舗を中心にした半径3km圏内の人口

## ドミナント戦略

当社の基本的な出店戦略として、新潟県と長野県においては、一定地域に集中して出店するドミナント戦略を進めております。出店・運営面におけるローコスト化が、小商圏への出店やドミナント戦略を可能にしています。

一方、ドミナント化を進める過程におきましては、当社店舗同士の競争が発生し、既存店や新店の業績に対し一時的にマイナスの影響を及ぼすことがあります。中・長期的には当社店舗がそろって着実に成長し収益に貢献するものと考えております。

## 出店を支える人材育成

店舗網が拡大していくなかでも、どこの店舗でも、お客様にご満足いただける質の高いサービスを提供していくためには、店長の責任が非常に重要です。当社では、店長のマネジメント力強化、本社機能の効率化を次期の重点課題として掲げ、収益の要である店舗を中心としたオペレーション強化に取り組んでおります。

店長に商品仕入を含めたより大きな権限を委譲し、数値責任をより明確にしました。さらに、次の店長を育成する責任を与えました。この取り組みを強力に推進するために、成果に対応したインセンティブ制度の導入や経験豊富なエリアマネージャーの増員を行っています。



## リサイクルの展開

従来の新鮮なエンターテインメント商品や情報の提供に加えて、リサイクル事業を導入することにより、より幅広いお客様のニーズに対応していきます。

### 古本市場トップブックス

連結子会社の運営する店舗「古本市場トップブックス」は書籍を中心としたリサイクルの取扱いを行っています。2002年11月に3号店となる「古本市場トップブックス新潟赤道（あかみち）店」を開店いたしました。



### 蔦屋書店におけるリサイクル

蔦屋書店では、CD・DVDやゲームのリサイクル取扱いを始めました。ほぼ全店に導入済みです。



## TOPCULTURE - netクラブ

ホームページ<<http://www.topculture.co.jp>>では、お店と同じように、書籍・CD・DVDなどをお買い求めいただけます。特に品揃え豊富なDVDは検索機能も充実しており大変好評です。商品の受け取りは、ご自宅へのお届けと、お近くのトップカルチャーの店舗での受け取りから、お客様のご都合に合わせて選んでいただいています。

また、メールによる情報配信や、ネットクラブ限定企画のクーポン発行など、インターネットと店舗が連動した企画により、お客様の来店促進を図っています。

今後はさらに利便性を高めることで、情報提供に留まらず、販売の拡大を目指してまいります。

PC版 <<http://www.topculture.co.jp>>

iモード版 <<http://www.top-c.net>>



# 財務データ

## 連結貸借対照表（要旨）

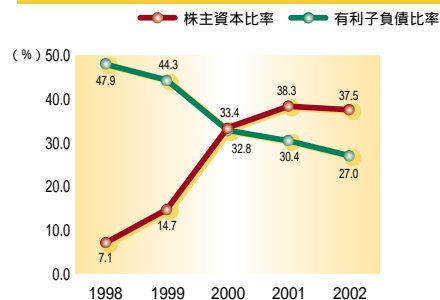
総資産の主な増加要因は新店5店の出店によるものであります。

(単位：百万円、切捨)	01/10期	構成比 (%)	02/10期	構成比 (%)	前年比 (%)
流動資産	3,500	45.2	4,078	47.2	116.5
現金・預金	753	9.7	643	7.4	85.4
商品・貯蔵品	2,472	31.9	3,004	34.8	121.5
その他	274	3.6	429	5.0	156.6
固定資産	4,252	54.8	4,567	52.8	107.4
建物及び構築物・土地	1,322	17.0	1,465	16.9	110.8
敷金・保証金	2,509	32.4	2,642	30.6	105.3
その他	420	5.4	459	5.3	109.1
資産合計	7,753	100.0	8,645	100.0	111.5
流動負債	2,751	35.5	3,408	39.4	123.9
買掛金	1,588	20.5	1,928	22.3	121.4
一年内返済予定借入金	663	8.6	696	8.0	105.0
その他	498	6.4	783	9.1	157.2
固定負債	2,025	26.1	1,988	23.0	98.2
長期借入金	1,692	21.8	1,638	19.0	96.8
その他	333	4.3	350	4.0	105.1
少数株主持分	6	0.1	6	0.1	104.4
自己資本	2,970	38.3	3,240	37.5	109.1
負債・資本等合計	7,753	100.0	8,645	100.0	111.5
BPS (円)(期末)	643.6		709.5		110.2
総資産回転率	1.97回転		2.07回転		

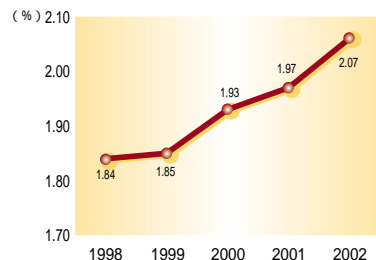
## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円、切捨)	01/10期	02/10期
営業活動によるキャッシュ・フロー	16	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	495	149
財務活動によるキャッシュ・フロー	369	106
現金及び現金同等物期末残高	685	628

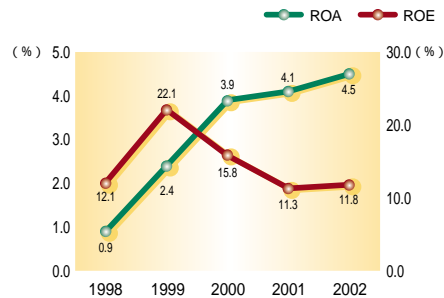
## 株主資本比率 / 有利子負債比率



## 総資産回転率



## ROA / ROE





## 連結損益計算書（要旨）

2002年10月期は、売上・経常利益・当期純利益ともに過去最高を更新いたしました。

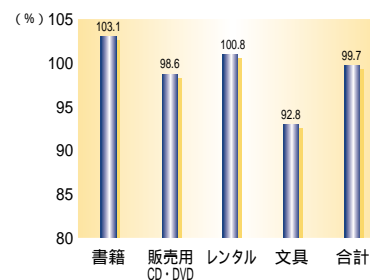
（単位：百万円・切捨）	01/10期	構成比（％）	02/10期	構成比（％）	前年比（％）
売上高	15,288	100.0	16,938	100.0	110.8
売上原価	10,690	70.0	11,896	70.2	111.2
売上総利益	4,597	30.0	5,041	29.8	109.6
販売費及び一般管理費	4,024	26.3	4,450	26.3	110.5
営業利益	573	3.7	591	3.5	103.2
営業外損益	11	0.0	27	0.2	-
経常利益	561	3.7	618	3.7	110.1
特別損益	17	0.0	33	0.2	-
税金等調整前当期純利益	544	3.6	652	3.9	119.9
法人税等	244	1.8	285	1.7	115.3
少数株主損益	3	0.2	0	0.0	
当期純利益	303	2.0	365	2.2	120.7

## 利益処分（単体）

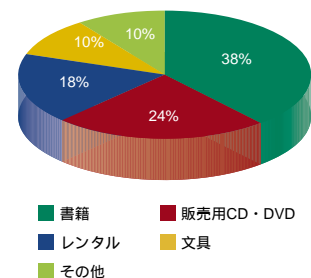
当社は、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の重要な課題と位置付け、収益の拡大による配当水準の向上を図ることを基本としつつ、将来の事業展開に備えた財務体質の強化にも努めてまいります。

（単位：百万円・切捨）	01/10期	02/10期
当期末処分利益	401	709
利益配当金（1株につき12円50銭）	57	57
次期繰越利益	343	652

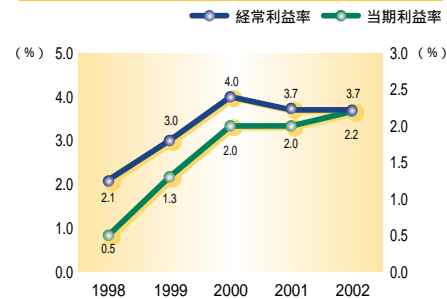
## 商品別売上高前年比（既存店）



## 売上高構成比



## 売上高経常利益率 / 売上高当期純利益率



# 会社概要 / 株式の状況

## 会社概要

商号	株式会社トップカルチャー
事業内容	書籍・CD・DVD・文具等の販売、ビデオ・CD・DVDのレンタル業務を行う大型複合店舗の運営を通じた「日常的エンターテインメント」の提供 店舗名「蔦屋書店」「HIE S」
本社所在地	〒950-2022 新潟市小針4丁目9番1号 TEL 025 ( 232 ) 0008
会社設立	1986年12月
株式上場日	2000年4月 店頭上場 2001年10月 東証二部上場
資本金	9億2,665万円
従業員数	213名（他パート・アルバイト363名） （2002年10月31日現在）
連結対象子会社	1社（株式会社トップブックス）
役員	（2003年1月31日現在） 代表取締役 清水 秀雄 専務取締役 渡辺 俊一 常務取締役 宮原 務 取締役 高野 義治 取締役 伊藤 正義 取締役 板垣 晋治 常勤監査役 小川原義明 監査役 相馬 潔 監査役 鷺尾 博 監査役 富岡 清嗣

## 株式の状況

会社が発行する株式の総数	16,736,000株
発行済株式の総数	4,684,000株
1単元の株式数	100株
株 主 数	2,455名

### 所有者別状況

	持株数(株)	持株比率(%)
個人その他	2,576,800	55.0
外国法人等	344,500	7.4
その他の法人	1,157,300	24.7
金融機関・証券会社	489,500	10.4
自己名義株式	115,900	2.5

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
清水秀雄	1,102,000	23.5
有限会社ヒーズ	880,000	18.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	248,900	5.3
ビービーエイチ フォー フィデリティー ジャパン スモールカンパニー ファンド	227,400	4.8
清水大輔	147,000	3.1
株式会社トップカルチャー	115,900	2.4
株式会社北越銀行	112,000	2.3
トップカルチャー従業員持株会	108,200	2.3
東京中小企業投資育成株式会社	80,000	1.7
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	80,000	1.7

## 店舗一覧

### 店舗一覧（2003年1月31日現在）

#### 株式会社トップカルチャー 40店舗

- （新潟県） 新潟市：女池インター店 / 小針店 / 空港通店  
 ベルパルレ寺尾店 / 黒崎店  
 南万代フォーラム店 / 竹尾インター店  
 白山駅前店 / 南笹口店  
 河渡（こうど）店
- 長岡市：長岡川崎店 / 長岡宮内店 / 西長岡店  
 北長岡店
- 他市町村：豊栄店 / 新発田店 / 新津店 / 県央店  
 小千谷店 / 六日町店 / 小出店  
 柏崎岩上店 / 上越インター店  
 佐渡佐和田店 / マーケットシティ白根店
- （長野県） 長野市：長野徳間店 / 長野川中島店  
 長野安茂里店 / 南川中島店
- 上田市：上田大屋店 / 上田しおだ野店
- 他市町村：大町店 / 須坂店 / 中野店 / 塩尻店  
 豊科店 / 諏訪中洲店 / 佐久小諸店  
 佐久野沢店
- （神奈川県） 厚木市：厚木戸室店

#### 株式会社トップブックス 3店舗

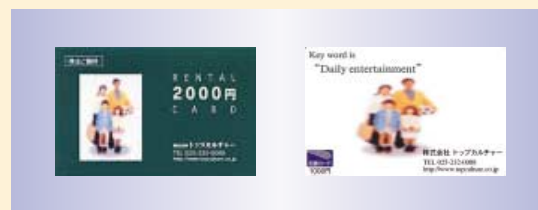
- （新潟県） 佐和田店、新潟赤道（あかみち）店
- （長野県） 佐久小諸店

## 株主優待・決算公告HP

### 株主優待

毎年10月31日現在で100株以上ご所有の株主様に対して、レンタル優待券または図書カードを下記の基準により贈呈させていただき株主優待制度を行っております。レンタル優待券は、トップカルチャーが経営するレンタル取扱いの全店舗（2003年1月31日現在39店舗）でご利用いただけます。なお、株主様には別途ご案内をさせていただきますので、そちらをご覧くださいますようお願い申し上げます。

	レンタル優待券の場合	図書カードの場合
100株以上 1,000株未満	2,000円相当を 一律に進呈	1,000円相当を 一律に進呈
1,000株以上	4,000円相当を 一律に進呈	2,000円相当を 一律に進呈



### 決算公告HP

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページ<<http://www.topculture.co.jp/kessan.html>>に掲載することとしましたのでお知らせいたします。また、当社ホームページでは投資家の皆様への情報提供を行うIRページを設けております。最新の会社の動きや業績報告などを掲載し、今後も一層の充実を図ってまいります。ぜひご活用ください。

## 株主メモ

決算期	毎年10月31日
利益配当受領株主確定日	毎年10月31日
(中間配当金を支払う場合)	(毎年4月30日)
定時株主総会	毎年1月
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同取扱事務所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 03(3323)7111(代表)
同事務取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載紙	日本経済新聞に掲載する。ただし、商法第283条第5項に定める貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、 < <a href="http://www.topculture.co.jp/kessan.html">http://www.topculture.co.jp/kessan.html</a> > において提供する。

## 株式会社トップカルチャー

TOPCULTURE Co.,Ltd

〒950-2022 新潟市小針4丁目9番1号 TEL 025(232)0008

<http://www.topculture.co.jp>

[top-cul@po.next.ne.jp](mailto:top-cul@po.next.ne.jp)